

II. 広聴業務

1. 文書広聴

(1) ふれあい通信

市民参加による連帯感あふれるまちづくりのため、市民の身近な所42か所に専用の便箋と封筒を常備した「ふれあい通信」を設置し、気軽に市政に対する意見やアイデア等を文書で申し出ることにより、市政への関心の高揚と市民参加意識の促進を図る目的で実施しています。

平成22年度には、137件の意見・要望を受けました。

○ 処理内訳

- ・ 回答をしたもの 101件

※ 各課から回答を受取り、申出人に回答しました。また、一部については、各課から直接申出人に回答しました。

- ・ 参考処理 36件

※ 匿名で寄せられたものなどについては、参考意見として各課に回付し、市政の参考にしました。

《設置施設別処理件数》

※ 件数は1通につき1件としているため、上記事案処理件数とは異なる。

設置施設	件数	設置施設	件数
市庁舎市民ホール	35	図書館（明保野）	1
上河内地域自治センター	12	中央市民活動センター	1
東図書館	11	西市民活動センター	1
河内図書館	8	北市民活動センター	1
姿川地区市民センター	7	老人福祉センターすこやか荘	1
東武百貨店	7	陽南出張所	0
平石地区市民センター	5	富屋地区市民センター	0
雀宮地区市民センター	5	瑞穂野地区市民センター	0
城山地区市民センター	3	篠井地区市民センター	0
保健センター	3	総合コミュニティセンター	0
総合福祉センター	3	東コミュニティセンター	0
保健所	3	観光協会（JR宇都宮駅構内）	0
宝木出張所	2	東武江曾島駅	0
横川地区市民センター	2	関東バス駅前定期券発売センター	0
豊郷地区市民センター	2	上河内図書館	0
清原地区市民センター	2	河内地域自治センター	0
東武宇都宮駅	2	南市民活動センター	0
市民プラザ	2	老人福祉センターふれあい荘	0
茂原健康交流センター	2	老人福祉センターやすらぎ荘	0
駅東出張所	1	老人福祉センターことぶき会館	0
国本地区市民センター	1	計	123

(2)市長へのFAX

市長への専用ファクシミリを設置し、広く市民から市政に対する意見・要望や提言などを受け付け、市長が直接目を通すことにより、市民の声を生かした市政運営を推進することを目的に、平成11年7月から実施しています。

平成22年度には、31件の意見・要望を受けました。

○ 処理内訳

- ・ 回答をしたもの 23件

※ 各課から回答を受理し、申出人に回答しました。また、一部については、各課から直接申出人に回答しました。

- ・ 参考処理 8件

※ 匿名で寄せられたものなどについては、参考意見として各課に回付し、市政の参考にしました。

(3)市長への電子メール

市のホームページの「市長へのメール」を利用して、広く市民から市政に対する意見・要望や提言などを受け付け、市長室に設置したパソコンに市長が直接目を通すことにより、市民の声を生かした市政運営を推進することを目的に、平成11年7月から実施しています。

平成22年度には、449件の意見・要望を受けました。

○ 処理内訳

- ・ 回答をしたもの 330件

※ 各課から回答を受理し、申出人に回答しました。また、一部については、各課から直接申出人に回答しました。

- ・ 参考処理 119件

※ 匿名で寄せられたものなどについては、参考意見として各課に回付し、市政の参考にしました。

(4)パブリックコメント

宇都宮市では、市民協働のまちづくりをより一層進めるため、市政への意見提案手続き、いわゆる「パブリックコメント手続き」を平成14年度から制度化しました。

パブリックコメント制度とは、市の重要な施策、たとえば計画などを策定していく中で、その計画などの素案を公表し、広く市民の皆さんに意見や情報を求め、提出された意見などを考慮して決定していくものです。また、意見など

に対しても、市の考え方を公表していきます。

この制度を活用することにより、政策決定過程における公正性の確保と透明性の向上を図り、市民参加による開かれたまちづくりの実現を目指します。

平成22年度は、5件の実施案件がありました。

《実施案件》

案 件 名	意 見 提出者数	意見数
宇都宮市自転車のまち推進計画（素案）について	14	26
宇都宮市文化振興基本計画「改訂版」（素案）	24	38
第2次宇都宮市緑の基本計画（素案）	9	23
第2次宇都宮市環境基本計画（素案）	14	40
第9次宇都宮市交通安全計画（素案）	1	1
合 計	62	128

2. 調査広聴

市政に関する世論調査（第43回）

① 調査の目的

この調査は、市民が市政についてどのように考え、また何を望んでいるのかを統計的に把握し、市政運営にあたっての基礎資料とすることを目的に、昭和43年以降毎年実施しています。

② 調査項目

調査事項	調査項目
属性	性, 年齢, 職業, 家族構成, 居住年数, 居住地域, 居住地区
宇都宮市に対する感じ方	宇都宮市の好き・嫌い, 好きな理由, 嫌いな理由
広報媒体の活用状況	「広報うつのみや」の入手方法, 「広報うつのみや」の閲読状況, 「広報うつのみや」で読んでいる記事, 「広報うつのみや」を入手していない理由, 「広報うつのみや」で充実してほしい情報, 市政情報の各広報媒体の視聴状況, 市政情報を得るために利用したい手段
市政情報の入手環境	市政情報の入手方法, インターネットの環境・利用状況, インターネットの利用環境, 市役所への問い合わせ可能時間帯
スポーツ	子どもの体力向上のための取組, スポーツの開始・継続のための取組, 施設の整備, スポーツ振興における行政への期待
男女共同参画	家庭生活での男女の地位の平等感, 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の認知度, 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）に関する理想と現実, 配偶者からの暴力を受けた経験
地球の温暖化防止につながる取組	現在取り組んでいる項目・今後取り組みたい項目
住宅用火災警報器の設置義務	住宅用火災警報器の設置義務の認知度, 住宅用火災警報器の設置状況, 設置していない理由
まちづくり活動	市民活動参加の意欲, 参加している・参加したい活動, 市民活動への参加・活性化のための取組
特別支援教育	「発達障がい」の認知度, 「特別支援教育」の認知度
もったいない運動	「もったいない運動」の認知度, 「もったいない運動」の認知経路

③ 調査の設計

- 調査地域 宇都宮市全域
- 調査対象 満20歳以上80歳未満の市民3,823人
- 抽出方法 住民基本台帳から単純無作為抽出（100分の1抽出）
- 調査方法 郵送法
- 調査期間 平成22年7月5日～7月23日

④ 回収結果

- 標本数 3,823
- 有効回収数 2,259
- 有効回収率 59.1%

3. 集団広聴

(1) まちづくり懇談会

市長が地域に出向いて直接対話することにより、市政に対する理解を深めてもらうとともに、本市のまちづくりについて、市民と行政が共に考えることにより、市民の市政への参画を促進することを目的に、平成11年度から実施しています。

平成16年度までは宇都宮市自治会連合会との共催で実施していましたが、17年度からは地域まちづくり組織との共催とし、地域の課題解決に向けて、市民と行政がそれぞれ何ができるかを共に考える場となっています。

平成22年度は、10回の懇談会を実施し、107件の意見・要望が出されました。

《開催状況》

開催日	開催地区	会場	参加人数	地域代表者 意見数	自由討議 件数
7月30日(金)	細谷	細谷地域コミュニティセンター	65人	2	8
8月3日(火)	五代若松原	西原北公民館	51人	2	12
8月25日(水)	城山	城山地区市民センター	86人	1	10
10月6日(水)	雀宮	雀宮地区市民センター	94人	2	13
10月22日(金)	西原	西原地域コミュニティセンター	21人	1	12
11月10日(水)	中央	総合福祉センター	106人	2	7
11月25日(木)	平石	平石地区市民センター	98人	2	4
1月14日(金)	姿川	姿川地区市民センター	133人	2	9
1月27日(木)	富屋	富屋地区市民センター	98人	2	7
2月8日(火)	宮の原	宮の原小学校地域開放室	52人	2	7
計			804人	18件	89件

《地域から市に対する意見内容》

- 第1回 細谷地区
 - 1 市道1160号線の道路改良工事について
 - 2 上下水道局発注の下水道敷設工事にかかわる残土置場について
- 第2回 五代若松原地区
 - 1 まちづくりの多様性と煩雑さについて
 - 2 安全安心ネットワークの推進について
- 第3回 城山地区
 - 1 多気山の展望台や休憩所等の整備について

- 第4回 雀宮地区
 - 1 雀宮地区市民センター図書室の今後の取り扱いについて
 - 2 雀宮地区市民センターのバリアフリー化について
- 第5回 西原地区
 - 1 西原小学校のプールの改築及び体育館の補修について
- 第6回 中央地区
 - 1 地域活動拠点としてのコミュニティセンター早期建設について
 - 2 雷雨・集中豪雨による浸水家屋の解消について
- 第7回 平石地区
 - 1 地域の自然と文化財を活用したまちづくりについて
 - 2 鬼怒川に河川敷自然公園の建設について
- 第8回 姿川地区
 - 1 まちづくり包括補助金の見直しについて
 - 2 自転車のまちづくりについて
- 第9回 富屋地区
 - 1 安全安心なまちづくりについて
 - 2 市北西部の活性化について
- 第10回 宮の原地区
 - 1 宮の原地域コミュニティセンター建て替えについて
 - 2 宮の原小学校校庭の環境整備について

(2)市長とランチでトーク

市民と市長が食事をしながら、特定のテーマに沿って気軽に意見交換を行うことにより、市民がこれからも住み続けたいと思えるような宇都宮のまちづくりについて、政策のヒントを得ることを目的に、平成17年度から実施している事業です。

平成22年度は、4回の意見交換を実施しました。

《実施状況》

実施日	テーマ	団体名
7月15日(水)	「うつのみや」について	親子8組
8月24日(火)	地産地消の食品開発について	宇都宮白楊高校 食品科学科
10月18日(月)	認知症になっても安心して暮らせるまちづくりについて	公益社団法人 認知症の人と家族の会
11月19日(金)	宇都宮のまちづくりについて	宇都宮大学国際学部 行政学研究室

(3)ふれあいトークング～市長と給食当番～

市長が小・中学校に出向き、未来を担う子どもたちとの対話を通して、子どもたちに市政をより身近に感じてもらうとともに、今後のまちづくりの参考とすることを目的に、平成17年度から実施している事業です。

平成22年度は、7回の懇談を実施しました。

《実施状況》

実施日	実施校
6月28日（月）	岡本小学校
7月8日（木）	城山中央小学校
7月13日（火）	中央小学校
9月27日（月）	上戸祭小学校
11月5日（金）	姿川第二小学校
12月16日（木）	上河内中学校
2月15日（火）	城山中学校

(4)施設めぐり

市民に市政への理解を深めていただくために、市の施設をはじめ、広く市内一円の現状を見聞し、市と市民相互の信頼と連帯感を養い、市民参加によるまちづくりの推進を図ります。

平成22年度は、計30回実施し、945人が参加しました。

① 団体対象

市内の自治会、婦人会、老人会等の地域団体及び市内に住所等を有する各種団体を対象に23回実施し、731人の参加がありました。

② 個人対象

市で設定したコースにより、一般市民を対象に7回実施し、214人の参加者がありました。

《団体の内訳》

参加団体種別	団体数
各種団体	7
自治会	7
婦人会	2
老人会	7

《団体の主な見学施設》

※3回以上訪問の施設のみ抽出

施設名	回数	施設名	回数
エコプラセンター下荒針	8	飛山城史跡公園	4
うつのみや遺跡の広場	8	ドリームプールかわち	4
大谷公園	4	栃木県防災館	4
上河内民族資料館	4	陸上自衛隊宇都宮駐屯地	3

《個人対象施設めぐり》

回	開催日 ～テーマ～	見 学 場 所
1	6月5日(土) 転入者必見コース	市保健センター⇒中央消防署⇒ ろまんちっく村⇒大谷公園
2	7月21日(水) 親子でエンジョイコース	冒険活動センター⇒ろまんちっく村⇒ ドリームプールかわち⇒飛山城史跡公園
3	8月5日(木) お堅いイメージコース	宇都宮市市議会⇒栃木県警察本部⇒ 栃木県防災館
4	10月8日(金) スポーツ施設まるごとコース	競輪場⇒とちぎ健康の森⇒ ろまんちっく村⇒グリーンスタジアム⇒ 清原球場
5	11月24日(水) 普段なかなか行けないコース	中央卸売市場⇒エコプラセンター下荒針⇒ ろまんちっく村⇒県農業試験場⇒ 中央消防署
6	2月8日(火) 宇都宮の愉快的な名所	大谷資料館⇒ うつのみや妖精ミュージアム⇒ とびやま歴史体験館
7	3月3日(木) 宇都宮の昔をめぐるツアー	旧篠原家住宅⇒上河内民俗資料館⇒ ろまんちっく村⇒うつのみや遺跡の広場